



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して発見! 身近な自然

いつもいきもの情報をありがとうございます。
いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。
紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
みなさんが発見したいきものや自然情報をご紹介します!
みなさんはどんな発見をしましたか? ふりかえってみましょう!

みなさんからいただいた情報を掲載しています!



ヒレンジャク (レンジャク科)



3月6日に目黒川船入場で目撃

尾の先は赤く、腹の中央が黄色です。群れで行動することが多く、その数は時に100羽を超えることもあります。

コミカンソウ(コミカンソウ科)



10月に洗足1丁目で目撃

花と果実が一列にぶら下がるようにして付きます。果実はまるで小さなミカンのようなのです。



シメ(アトリ科)



1月19日に駒場野公園で目撃

スズメとムクドリの中間の大きさで、チチッ!チチッ!と鳴きます。太いくちばしで、硬い殻などを割って、中の種子を食べます

ヒガシニホントカゲ(トカゲ科)



敵に襲われると尾を切って逃げる時がありますが、尾はやがて再生します。幼体時は尾がメタリックな青色です。

8月20日に柿の木坂1丁目で目撃

ツバメシジミ (シジミチョウ科)



3月24日に東工大で目撃

後はねの尾状突起をツバメの尾羽に見立てたことが名前の由来と言われています。オスのはねの表面は青紫色で、メスは黒っぽい色をしています。

コゴメイヌノフグリ (オオバコ科)



3月13日に中目黒公園で目撃

白い花が特徴的なオオイヌノフグリの近似種です。元々は、ヨーロッパ原産の帰化植物ですが、小石川植物園で研究用に栽培したものが、都内に広がっていると言われています。

アズマヒキガエル (ヒキガエル科)



3月25日に原町2丁目で目撃

経路のにおいを記憶していて、毎年、同じ水辺で繁殖します。目の後ろの耳腺から白い毒液をだすことがあります。

これは何のいきもの でしょうか?



1月30日に東山2丁目で目撃

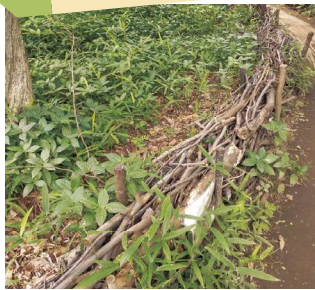
アケビコノハ(ヤガ科)

はねを閉じた姿は木の葉にそっくりです。このように、他のものに様子や姿を似せることを擬態といいます。これなら、天敵から見つかりにくくなりますね。

目黒区内の取り組み紹介

目黒区内の公園では両生類や爬虫類などの
いきものが暮らせる場所(エコスタック)を設置しています。

駒場野公園



駒場野公園では、枝を利用した粗朶柵や丸太積みがあります。よく、枝や丸太の上で、ひなたぼっこをしているトカゲが見つかるそうです。

また、園内にある自然観察舎では、園内で見つかったヒキガエルの卵を育てて、観察・展示しています。他にも、さまざまないきものが観察できるので、ぜひご利用ください。



碑文谷公園



碑文谷公園では、園内の複数の場所に、石を積んでトカゲなどの爬虫類が住める場所を設置しています。

その他に、粗朶積みや草を刈らないエリアも作っています。



探し方の
コツ!

カエルやトカゲの探し方!

今年度は、両生類・爬虫類の情報を募集しています。
引き続き、情報提供をよろしくお願いいたします。

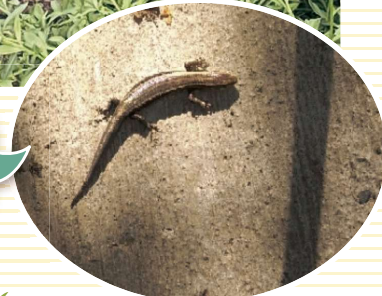
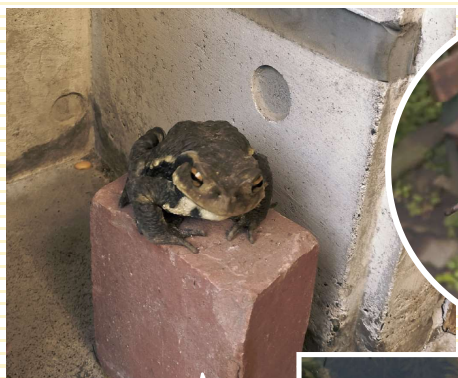
カエル

種類によって異なりますが、産卵期は水辺にいたることが多いです。また、アマガエルなどは湿った場所や畑でも見つかります。



トカゲ

晴れの日のお石垣やコンクリートの上など。隠れる場所が近くにあれば、会える確率UP!



体が乾燥に弱いため、水辺の近くでよく見つかります。



体を温めるためひなたぼっこ。